

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月23日(14:00~15:30)
令和3年10月29日(14:00~15:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	0人	0人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">送迎、訪問時にご本人・ご家族との会話をより一層大切にし、些細な事でも記録に残し、スタッフ間で共有する事を継続する。初回利用から2週間を目安にADL等項目ごとに細かく記録して担当者を中心に手順書を見直し、ミーティングのモニタリング時に再評価を行い、情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">ご本人、ご家族との会話を積極的に行い、知り得た情報は主にタブレット端末で共有する事ができた。通いや訪問時の様子を細かく記録して、ご本人、ご家族のニーズに合わせ担当者中心に手順書の見直しやミーティング時に再評価を行い情報共有出来た。以前利用していたサービスでの様子等が把握できていれば、ご本人にとって継続したサービスが提供できたのではないかと。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3人	10人	0人	0人	13人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3人	10人	0人	0人	13人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2人	8人	3人	0人	13人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	11人	0人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">利用開始前にケアマネの他に担当職員が事前訪問に同行し、書面・タブレットの記録・ミーティングを通して必要な情報共有が出来た。日々の様子を体調だけでなく、表情や気持ちの変化にも気を配り詳細に記録し、早く職員や他の利用者や打ち解けることができるように配慮できた。ご本人・ご家族の様子を伺いながら、必要な支援を臨機応変に提供する事が出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">ご本人のニーズを効率的に情報収集する事が出来ない時があった。話が續かない方に対するコミュニケーションが不十分だった。以前利用していたサービスでの様子が分からず、継続したサービスが出来ていない事があった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">送迎、訪問時にご本人・ご家族との会話をより一層大切にし、些細な事でも記録に残し、スタッフ間で共有する事を継続する。初回利用から1ヶ月を目途に情報シートに書き込み、情報共有し「その方を知る・理解する」期間を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月23日(14:00~15:30)
令和3年10月29日(14:00~15:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	5人	0人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・モニタリングのタイミングで情報シートの情報提供や周知を担当者中心に行っていく。・職員間で声を掛け合い協力することでご利用者と関わる時間を増やし、興味のある事を探っていく、ご利用者・スタッフが相互に楽しめるツールを増やし、実践していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・一時的に情報シートを活用し意識的に関わり、ご利用者の意向や情報を収集する事はできたが、継続出来なかった。・タブレット端末導入によりご利用者と楽しく関わる時間が増加し、興味のある事を探り、スタッフ間の話し合いや記録記入によりある程度情報共有できたが十分ではなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0人	7人	6人	0人	13人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1人	7人	5人	0人	13人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1人	6人	6人	0人	13人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1人	8人	4人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ご利用者との会話の中でしたい事を把握し、できる事は実行出来た。・意思が上手く伝えられない方に対しても表情や仕草から推測し、したい事の実現に努めた。・タブレット導入に伴い、以前より時間に余裕ができ「～したい」に対する関りが増加した。・関りの中で見えてきた課題をミーティングで検討し、次のケアに活かすことができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ご利用者の目標(ゴール)・興味のある事が十分把握できていない。・会話を好まれない方のアプローチが上手くできなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ケアプランをケアマネ任せにせず、担当者を中心に日々の関りの中で見直していく。・ミーティング時のモニタリングを継続しつつ、ご本人の目標(ゴール)を意識した話し合いを行い、日々の関りに反映させる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月23日(14:00~15:30)
令和2年10月29日(14:00~15:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	4人	0人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・「出来なかった事」はもちろんのこと「出来た事」にも意識を向け「ニヤリ・ホット」として介護記録に記入して、御利用者の良いところ・出来る事をどんどん挙げ、共有する。・暮らしシート等、適宜確認し、現在の暮らしやケア等に生かし、ケア中の表情やしぐさ等ささいな変化にも気を配り、その時々にあった介護を行うよう努める。・早急に共有したい情報や検討事案ある時は、臨時的に昼礼等を行って情報共有・改善を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・タブレット端末活用により、以前よりもご利用者の「出来た事」等の介護記録が増え、プラス面に目を向ける事ができたが、情報共有までとは至らなかった。・暮らしシート活用には至らなかったが、ケアの中で些細な変化に気を配り情報共有出来た。・特に昼礼は実施せず、早急に共有したい情報や検討事案がある時は職員間で声を掛けあいタイムリーに情報共有出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0人	4人	6人	3人	13人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6人	7人	0人	0人	13人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2人	6人	5人	0人	13人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2人	10人	1人	0人	13人
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2人	8人	3人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ご本人の変化に対してはタブレットに記録し、情報共有に努めチームとして臨機応変に適切な対応が出来た。・ご利用者のいい所、できる所も記録に残すようにした。・気になる事に関してはミーティングで話し合い、統制されたサービス提供に努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・以前の暮らし方について十分把握出来ていない。・利用頻度が少ない方の以前の暮らし方の把握が難しい。・健康状態の変化に対し、早期受診を勧めるべきだった事があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・暮らしの情報シートを更に充実させ、日々の利用者様との関りに活かしていく。・本人の気持ちや体調の変化等気付いた事は確実に記録に残すと共に、タイムリーに情報共有する為に口頭で伝える事も重視する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和3年9月23日(14:00~15:30) 令和3年10月29日(14:00~15:30)
-----	---

4. 地域での暮らしの支援

メンバー	13名
------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	10人	3人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中での認知度を高めるため、感染症対策を行い、地域活動(まちなね)に利用者と参加して、地域との関係性を構築する。 地域全体が我々の職場であり、利用させて頂いている意識を持ち、今まで以上に近所の方々にも積極的に挨拶を行い、車の運転の際は余裕を持ち思いやりの運転を心掛け、日頃から地域のゴミ拾いを実施する。
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を講じて、地域活動(まちなね)を開催する事ができたが、ご利用者の参加・地域との関係性の構築までには至らなかった。 地域=職場の意識を持ち、思いやりのある車の運転、積極的な挨拶が実施できた。
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0人	7人	6人	0人	13人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係性が切れないように支援していますか?	1人	7人	2人	3人	13人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1人	5人	6人	1人	13人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0人	5人	5人	3人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご本人と家族・介護者・地域との関係性を尊重した支援が出来た。 民生委員と連携し情報共有出来た。 近所の方からお声がけ頂き、情報交換等の交流が出来た。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 事業所以外での過ごし方を把握できていない方がいる。 ご本人に必要な民生委員や地域資源について十分把握出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を行い、地域活動(まちなね)に利用者様と参加して、地域の方々との交流を深める。 利用者様と共に事業所周辺等を散歩しつつ地域のゴミ拾いを計画し実施する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和3年9月23日(14:00~15:30) 令和3年10月29日(14:00~15:30)
-----	---

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	13名
------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	9人	2人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「良い変化」に着目し、職員連絡ノート・介護記録・ミーティング等で情報共有を行い、本人の「強み」を生きて可能性を広げていく。 ・早急に周知すべき「変化」に関しては、リーダーを中心に臨時的昼礼等を行ない周知し柔軟な支援に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット導入により、周知すべき変化についてはスムーズに情報共有出来たが、良い変化については今までよりも記入されてはいるが十分な情報共有までは至らなかった。 ・早急に周知すべきことは、適時、職員間で話し合い、サービスの内容が妥当かどうか疑問に思う時はミーティング等で話し合い柔軟な支援が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4人	4人	5人	0人	13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6人	7人	0人	0人	13人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5人	7人	1人	0人	13人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5人	8人	1人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の状況、状態により訪問・通い・泊りを追加する等、臨機応変に対応できている。 ・タブレット導入により、出先で情報収集出来るようになり柔軟な支援が出来た。 ・利用者様の退院後の対応に関しては状態変化の気づき等情報共有・話し合いを行い、機能回復に繋がった。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を有効活用出来なかった。利用者様により個人差がある。 ・利用者様の強み、可能性を十分に引き出すことが出来なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・早急に周知すべき「変化」に関しては、リーダーを中心にその都度周知し柔軟な支援に繋げる。また、フェニックスネットを活用し、他機関との連携、協力、情報共有に努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年10月16日(14:00~15:30)
令和2年10月29日(14:00~15:30)

6. 連携・協働

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	5人	3人	13人

前回の改善計画

- ・スタッフは関係機関とある程度連携調整できる様、各利用者様のその他のサービス機関に関する基本情報を分かりやすく整理し把握する。(ネットワーク構想図)
- ・センターの防災訓練や行事に関しては広報誌やポスター、回覧板等を活用し、感染症対策を行いつつ、地域の方々にも参加して頂く。
- ・地域のイベントにも利用者様と参加して交流を深める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・タブレット導入により、関係機関との情報共有・連携調整がし易くなった。ネットワーク構想図作成までは至らず、ケアマネ任せになっているところがある。
- ・感染症により、地域の方々を招いての防災訓練やイベントは実行できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3人	2人	2人	6人	13人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3人	1人	2人	7人	13人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0人	0人	5人	8人	13人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0人	1人	2人	10人	13人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ケアマネ中心となって担当者会議等に参加し、関係各所と連携はとれている。
- ・フェニックスネットを活用して訪問看護、訪問リハ、薬局等と情報共有出来ている。
- ・防災訓練時、消防署の方に来ていただき連携を図り防災意識を高める事が出来た。
- ・広報誌を定期的に発行する事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域、他事業所のイベントの依頼や交流、会議への参加が出来なかった。
- ・事業所へ地域住民の方々に来ていただくことが出来なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・各担当者は利用者様がその地域で何処とどのように繋がっているかを分かり易く確認できるようなエコマップを作成する。
- ・センターの防災訓練や行事に関しては広報誌やポスター、回覧板等を活用し、感染症対策を行いつつ、地域の方々にも参加して頂く。
- ・地域のイベントにも利用者様と参加して交流を深める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月23日(14:00~15:30)
令和3年10月29日(14:00~15:30)

7. 運営

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	3人	4人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">多くのスタッフが参加できる様、業務の調整を行う。ミーティング内で地域に関し、気になること等を話し合う。広報誌を活用し、地域の困りごとを相談しやすいように呼びかけ、日頃の訪問業務の際も地域の困りごとに気付いたら報告して話し合う。(お互いが支え合う関係作り)運営推進会議議事録を必ず閲覧して理解を深め学んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">なるべく多くのスタッフがミーティングに参加し事業所のあり方について話し合う機会があったが地域に関する話し合いがあまり出来なかった。広報誌の紙面で地域の困りごとに関する呼びかけは出来たが、地域からの声を拾うことは出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	1人	5人	5人	2人	13人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2人	10人	0人	1人	13人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	8人	2人	2人	13人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1人	3人	3人	6人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">利用者や家族からの意見や依頼を直ぐに情報共有し、運営の改善に努めた。ミーティング時、事業所の課題について話し合い運営改善に繋がった。運営推進会議の議事録を見て、事業所の運営について学ぶ事ができた。広報誌の定期発行により地域へのアピールが行えた。他の事業所の苦情事案であっても、自分たちの課題ととらえ改善策を立て実行できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">感染症の影響で運営推進会議をはじめ地域と協働する取り組みが実施出来なかった。広報誌の定期的な発行はしたものの、地域の方々から広報誌に関するご意見や要望を伺う事が出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">小規模多機能型居宅介護美沢の理念に基づいたケアができているかミーティング時等で振り返り評価する。(上半期・下半期各1回)広報誌に関して、地域の方々から意見や要望を伺い運営の質の向上に繋げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月16日(14:00~15:30)
令和3年10月29日(14:00~15:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	8人	5人	0人	13人

前回の改善計画

- ・ヒヤリハットは「良い気付き」だと捉え率先して記入し、事故防止に繋げる。
- ・自分なりにケアの根拠を考え、自分のケアに自信を持つ。(自己決定による能動的な業務)
- ・職場内研修(OJT)に関しては新たな試みとして、小規模・特養・ヘルパー相互に見学や体験業務を行い、お互いの質の良いサービスを取り入れる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ヒヤリハットは積極的に挙げられており、その都度共有し、事故防止に有効活用出来た。
- ・主にミーティング時ケアの根拠を考えながら話し合いサービスの質の向上に繋がった。
- ・小規模、特養、ヘルパー間の相互体験業務は実施できなかったが、相互に事例検討する事で、より良い改善策が共有出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3人	7人	0人	3人	13人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0人	6人	1人	6人	13人
③	地域連絡会に参加していますか	0人	3人	1人	9人	13人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3人	6人	3人	1人	13人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・月1回のペースでセンター内研修は実施できており、小規模・特養・ヘルパーそれぞれの事案を持ち寄り意見交換し、ケアの質の向上に繋がった。
- ・ミーティング時その月の事故、ヒヤリハットを振り返り再発防止に取り組めた。
- ・センター内研修やミーティングに参加できなくても確実に議事録を確認して、共有・実行できた。
- ・ヒヤリハットを書くことで、チーム全体で情報共有でき、有効な改善策を模索できた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・感染症の影響で職場外研修に参加できなかった。
- ・自発的な資格取得やスキルアップのための研修への参加

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・職場内研修(OJT)に関しては新たな試みとして、小規模・特養・ヘルパー相互に見学や体験業務を行い、お互いの質の良いサービスを取り入れる。
- ・積極的に外部研修(オンライン)に参加し、自己研鑽に努める。
- ・リスクマネジメントマニュアルを見直す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月23日(14:00~15:30)
令和3年10月29日(14:00~15:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	12人	0人	0人	13人

前回の改善計画

- ・ケアに関してスタッフ間で助言し是正合えるようにチームとしての意識を持つ。日頃から利用者様・スタッフ間の関係作りを大切にして、話し方、伝え方等を工夫し居心地の良い環境を作る。
- ・不穏な方の精神的苦痛を軽減できるよう対策を取る。(工夫する)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・主にミーティング時、ケアに関し疑問や違和感がある事に対して話し合い、是正することができた。
- ・利用者様、スタッフ間のコミュニケーションに関して各自積極的かつ工夫して行われており、居心地の良い空間作りが出来た。
- ・不穏な方に対しても、聴き方・伝え方を工夫して精神的苦痛軽減に努めた。また、ミーティング時に対応策を検討して不穏軽減に繋げる事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11人	2人	0人	0人	13人
②	虐待は行われていない	11人	2人	0人	0人	13人
③	プライバシーが守られている	3人	9人	1人	0人	13人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10人	2人	0人	1人	13人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5人	7人	1人	0人	13人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束、虐待は行われていない。
- ・各介助に応じて、プライバシーに配慮した援助ができた。
- ・個人情報の管理はある程度適切に行えている。
- ・ミーティング時、身体拘束・虐待事案(今後なりうる可能性のあるものを含め)意見交換を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・急用の際、テーブル上にタブレット端末を置きっぱなしにする事があった。
- ・時々、利用者のプライバシーに関する事を他の利用者に聞こえる声で話し合う事があった。
- ・配慮に欠けた言動、対応により、ご利用者様を不快にさせたり、嫌な思いをさせてしまった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・適正な個人情報の管理ができているかチェック項目をリストアップし、定期的(月1回程)に確認する。
- ・事業所内において身体拘束・虐待検討係を設け、限りなく可能性の低い事案の段階で協議し、回避に努める。